

梅ヶ島 山の声

～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハズっくん



有東木地区で工事着工式典を開催～8月9日(土)～

有東木地区では、土石流危険渓流対策として3基の砂防堰堤を計画しているが、その一基目の杉の木沢砂防堰堤を本格的に着手することから、『有東木夢プロジェクト(砂防堰堤群)』着工式典を開催しました。

当日は、台風11号の来襲が心配されましたが天候にも恵まれ、地元の衆議院議員、県議会議員、市議会議員などをお招きし、来賓挨拶、事務所長の事業概要説明の後、関係者にて鍬入れ式を行い工事の安全を祈願しました。

その後、白鳥有東木自治会長の挨拶、静岡市の重要無形民族文化財に指定されている有東木の奉納神楽「恵比寿・大黒の舞」が有東木芸能保存会により披露され、翁による口上が有東木の谷に響き渡り、土砂災害防止に対する住民の心底からの期待が伝わり、会場中が大きな拍手に包まれていました。



上川陽子衆議院議員の挨拶



白鳥有東木自治会長の挨拶



芸能保存会による「恵比寿・大黒の舞」



工事の安全を祈願し鍬入れを行う関係者「エイ、エイ、エ～イ!!」



住民の心情を代弁する翁口上

駐在さんと水難事故防止合同パトロールを実施～8月14日(木)～



梅ヶ島出張所では、毎年夏休み期間に安倍川上流域で「水難事故防止パトロール」を行っています。今回は、地元精通している梅ヶ島警察官駐在所の米原巡査部長と合同で巡視を行いました。お盆ということもあり、雨にも関わらず、橋の下やキャンプ場などに予想以上の河川利用者がいました。

橋の下でバーベキューを行っていた学生さん達は、おまわりさんの登場に少しびっくりしていましたが、

私達の話に耳を傾け、水難事故の怖さをしっかりと理解してくれた様子でした。

梅ヶ島地区全体の見回りを行っている米原巡査部長からは、河川利用者が多く普段から気になっている場所も教えて頂き、今後の巡視の参考になりました。



梅ヶ島キャンプ場にて



平野橋下でバーベキューをする若者たち

「ストップ! 水難事故」



水難事故防止サイトはこちら→ http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/06_bousai/08_stopkasenjiko.html

梅ヶ島大代地区で長さ234mの流しそうめん～8月15日(金)～

毎年、旧盆の8月15日に開催されている大代地区の流しそうめんに参加してきました。

これは、静岡大学農学部が「農業環境演習」の一環として、農業の大きな課題である後継者問題に対処するため「ホームカミングデー」を企画し、そのメインイベントが学生と地域住民が連携し開催する流しそうめんです。

今年で5回目となる流しそうめんは長さ234mもあり、その日の大代地区は人口が数倍に膨れ上がって、学生たちの仮装や里帰りした子供たちで大賑わいでした。

これを機に、Uターンやターンにつながり、本地区が栄えてほしいと思いました。



学生や住民による大代地区の流しそうめんの様子

「旬な現場」大谷崩で体験型の現場見学会を開催～8月21日(木)～

体験型の現場見学会「旬な現場」を大谷崩で開催しました。一般応募の32名(午前20名、午後12名)の方々が参加され、山腹工事の模擬体験、化石探し、工事用モノレール試乗などを体験しました。

全国各地で土砂災害が頻繁に起こっていることもあり、砂防事業に対する期待や関心を持っている方が多く、「参加して良かった、満足した」といった感想を頂きました。

参加者から頂いた感想の一部を、以下に紹介します。

- 孫達に普段体験できない事をさせてやりたかったので参加した
- 日本は今年あちこちで災害があり、自分の住む静岡の地域の特性を知っていなければいけないと思い参加した
- ただの見学ではなくて、体験できることが良かったし、楽しかった
- 大谷崩などの対策に80年前から作業していることを知り、自然を相手に大変な仕事でご苦労様です
- なかなか家族では来られない、ちょっと怖い場所と思っていたが、日々作業されている方々がいるんだなと感銘を受けました
- スタッフの気配りありがとうございます、子供達も良い勉強になりました



大谷崩をバックに全員集合



山腹工事の模擬体験



これ化石かな?、ヤッター!



工事用モノレールに試乗

編集後記

8月は記録的な豪雨により、広島や北海道などで大規模な土砂災害が発生し、多くの方々が犠牲となってしまいました。当事務所からも2名の職員を緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)として派遣し被災状況調査を行い、9月3日より応急復旧対策のための支援に移行しています。

私達も、土砂災害に備えて、避難地・避難経路や家族の安否確認方法などを確認しておきましょう。NTTでは災害用伝言ダイヤル(171)があり、毎月1日と15日に体験利用できます。また、携帯各社でも災害用伝言板サービスが提供されていますので確認してみてください。

皆様からの情報やご意見を募集しますので、以下までお願い致します。

Tel:054-269-2003、E-mail:http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html



緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)

